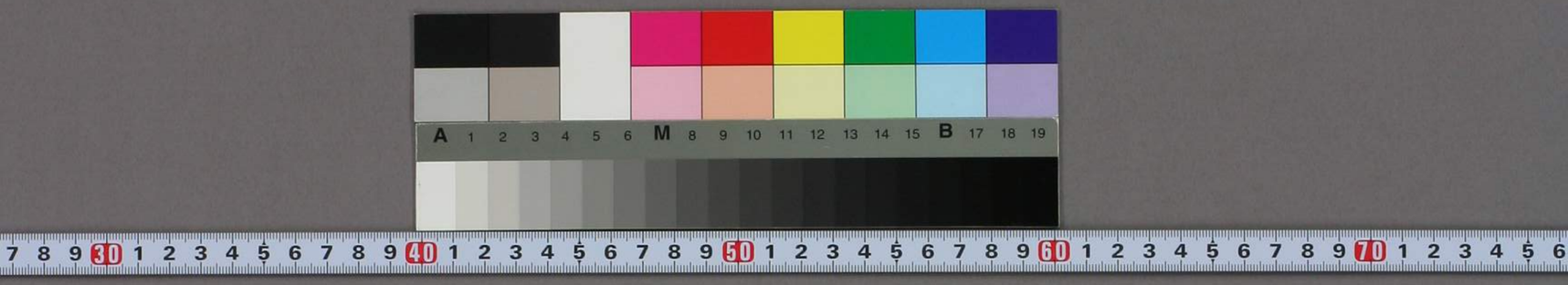

~4
8064

冬日蘇百首和歌

権大納言藤原實隆

春十五首

早春

春雪

野鶯

冬日詠百首和歌

春十五首　　権大納言藤原實隆

早春

末乃めかもたたみてうのあしたとも
ゆきはつゝ心ちのはるのとなる

春雪

まつのゆきはるのはなかとまつ
ゆきはるのはなかとまつ

野鶯

あつまのはるのはなかとまつ
我しらぬさとに春とやなく

海霞

うらのゆきはるのはなかとまつ
あさけ霞ゆかしかりけり

関霞

はるかなる関のあなたにゆく風の
ゆくもはるかに波ぞ立

朝若菜

はるかなる富の小野の若菜
はるのはつ子をたにつむ

庭梅

花ゆへにはるのはつ子をたに
あるはなにまつ梅の香

夜梅

時なしけれども わがやどに

庭梅

花といはばかはるとうぐいすをに
なるはるまちえたる梅の香

夜梅

あけぬるか梅のうちの月新
まちえたるこの梅の風

夕歸鳥

宿へかへる山のくもかげ
伊つるとも地の神の社

載花

うゑをくは花のたねとなるさま
しるしの門を言はれる事

待花

志ろやまいまだ新あて春の花
枝の雪ちらいうれしきを

尋花

なびけるかみ手やゆきつる道
ちりはてしまし山ちる春

翫花

雪ふるとも行くへ地の方誘て
をきこ雨なる花むのくへのれ

惜花

いろの形ん身にうきを一さんも
むなしこれ世のあく物よせん

殘春

中くるいくかつ何の春ぞ

惜花

[illegible]に[illegible]を[illegible]一[illegible]も
[illegible]世の[illegible]あく物よせん

殘春

[illegible]かつ[illegible]ゆく[illegible]春の[illegible]
なごりをしさすれば暮の[illegible]

夏十首

首夏

南[illegible]に[illegible]
[illegible]

夏草

[illegible]

初郭公

[illegible]

鶯郭公

一[illegible]

杜郭公

霍公[illegible]

池昌蒲

[illegible]

山上月雨

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山立月雨

[illegible]

故郷橋

[illegible]

澤螢

[illegible]

樹陰納涼

[illegible]

秋十五首

初鶉

[illegible]

行路萩

[illegible]

山家虫

[illegible]

夕萩

[illegible]

[illegible]

夕萩

おきの葉やゆふ風に秋風を
かなり風ふくなり

谷鹿

谷の戸いくちとつかてさかれ
たりかなきまれ落そ乃ちき

原鹿

みく原やふくる風ふる原
うしろ寄ふ寄ふ祢ふたてあと

潟月

おきつなみ、さ[illegible]梅月を見てき
しほあ[illegible]ふかるふ雲

江月

あ[illegible]秋乃月
入江の月芝ふ[illegible]

浦月

志ほ[illegible]風ふる秋乃月
いけ[illegible]

橋月

橋はて[illegible]梅枝
なる[illegible]

河月

惜乃水新やふちふ河の音の
ひなる月のうすすゆく

暁橋衣

時りのこれ[illegible]

[illegible]

[illegible]

曉橋春

時雨ものこれる梢の数ふかき花の春をあらはす橋乃しるしやたつ雲

遠村紅葉

霧晴て乃口の屋しきやたのめる[illegible]

[illegible]

古寺紅葉

[illegible]

暮秋

[illegible]

冬十月

田家時雨

[illegible]

野徑霜

[illegible]

寒夜千鳥

[illegible]

水亭蘆

[illegible]

水辺蘆

志賀浦に刈積みたる蘆のかれ
ぬるかぎりなきかな

湖氷

ひろ海のなかにかたくとけぬる
入あるかぎりなきかな

林雪

春秋のあらそひにさかりなる
あるにしたがひてなくなる雪

濱雪

志賀の風ふきまさるにまさる
しほかぜにまじる雪のかずかな

巡雪

雪ふりしきる神のかつらぎ
なるへの雪をしたがへる

深夜霰

雪ふりしく神のかつらぎ
なるへの雪をしたがへる

歳暮

ひとつとせ乃新たなる
志つるその月をあらはす

寛三十六首

寄若所恋

津ぬまかぜにはたとすれる
ときすれ乗乃人をしる

紀をすぬ志い乃

しつその月をわかれ路思ふらん

恋二十五首

寄若衆恋

はま遠なひよりけ捨人とすれはこそ出つる
ときされし來乃人さへさそはれも
忙をすまいかれ多や浅ちか乃
人めありあかまきのしれ原
いな縁ともいかせの杜乃保りきて泌
せめくはそちりこよれ葉にせん
わくたはれはしめの夢ならしに
多の世物して見えりけりを
数くりさ海り流しうちし涙かな
志ほれとわれ乃あとまかちりきか
かささあくおもふつためや武蔵の
草のはいまつくかせとり実まし
人こは世よありまれうちあくの
え花あくらよふ道をてしにあし
くろくもあくいめのみちはすめいのれ
心はなし乃若なるしけり
いはをいはくわか世志うへき多かれ
あまいの松ちいつしたのむし
さうしなよあゝ逢にさえい多かね月
めかまを涙乃ほとはれみを世
恋ゆすいかさいれおほ羅の嵐風
老くらんまいなるもふ人もれし
はすい娘の契りしてゆかれつ袖り
さいしかつら宇治乃川なき

わたしわたしき浪のさとはらみち世
露ほすいつれおほ堤の暁風
吹くらんまはとふ人もなし
ぬし姫の契りこす涙の袖なり
さむしかの宇治乃川なと
あさ霧秋乃心なりふきゝ我
まかせくる月の山とおちなれは
りはしにけふつゝ筆音にかいなん女
又逢まても流しこひを関
てれはなぬひとへしかむ川
数かくれ見えもあかなん
なほ山乃かけに瀬津中々なけれ
舟のうし末は蓋なかめ狩
かりしき乃あふみおいりて山河の志
よしのうは世とゆめくみかけ
日にちさく我まゝしそのあすは川
しの乃ちさかや淵とならん
うつやあしかすみつる水そこの
青そは山を秋かやしなる
猿の声て我みるし乃浦さきの河
いはね恋しさ此まれしてなつかしし
きと思しても人のかくはぬのまろて
なほ世を鳴の声ひとはしたる
めくみあらん末もうつやい下は常流
むすひ捨めし石河そむかり
あはなき乃庵して梢は茂かり
のしはれは酒のはつし寝

なけまとりの声ハいとゝ清
めくらあて来るやうや下ハ帯流
しすひ拾ひ石河の志らり
あるゝ乃屋ゝてハ拾ひ新り
のゝうはわ酒のはつて海
なるとゝるちさ乃来よゝ遠出ゝ
波りゝ者ゝ井てのゝ見
はゆへゝしの袖とゝ地ても
見をゝやゝ乃ゝ波

雜廿五首

旅

春

春かゝゝを出て江のゝ中ゝ
野ゝも山にもつゝやゝ

夏

牧原ゝゝく蓮ゝ乃ゝ
ゝをゝしゝ

秋

秋の露ハゝ乃袖ゝ
ゝかゝへゝ野ゝ

冬

磯ゝゝ木の葉ゝ
一ゝなゝ方ゝ

暁

夢ゝ
いゝ乃ゝ

述懐

なけ
めくら
しすひ
あるゝ
のゝう
なるゝ
波りゝ
はゆへ
見をゝ

雜廿五首

旅

春かゝゝを出て江のゝ中ゝ
野ゝも山にもつゝやゝ

夏

牧原ゝゝく蓮ゝ乃ゝ
ゝをゝしゝ

秋

秋の露ハゝ乃袖ゝ
ゝかゝへゝ野ゝ

冬

磯ゝゝ木の葉ゝ
一ゝなゝ方ゝ

暁

夢ゝ
いゝ乃ゝ

述懐

一とせとなりしかとそこ[illegible]

暁

[illegible]

述懐

山

[illegible]

河

[illegible]

[illegible]

舞

[illegible]

里

[illegible]

[illegible]

祝

天

神[illegible]

[illegible]

日

出[illegible]

[illegible]

月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

日

出るとは[illegible]

月

[illegible]

秋清き月[illegible]

星

[illegible]

[illegible]

雲

[illegible]

[illegible]

神祇

伊勢

又十鈴川[illegible]

[illegible]

石清水

石清水[illegible]

[illegible]

賀茂

[illegible]

[illegible]

春日

[illegible]

[illegible]

住吉

[illegible]

春日

[illegible]

住吉

[illegible]

釋教

大日

[illegible]

釋迦

[illegible]

阿弥陀

[illegible]

薬師

[illegible]

弥勒

[illegible]

此一巻光公道運院筆跡不虔一覧忽涙懐舊彩
者也于時永禄三年暮秋下澣　孫若野釋遙

[illegible]

藥師

秋霧よ志ゝかせて春ぬる
[illegible]の風よりく世を[illegible]

彌勒

[illegible]と花めくる[illegible]
世[illegible]出る道や志ほと[illegible]

此一卷先公道遥院筆跡不虔一覽忽還懐舊[illegible]
者也于時永禄三年暮秋下澣　稱名[illegible]釋[illegible]